

# 住空間のユニバーサルデザイン

似内志朗

日本ファシリティマネジメント推進協会  
調査研究委員会ユニバーサルデザイン研究部会

# INDEX

## 1 ユニバーサルデザイン(UD)とは何か

ユニバーサルデザインの考え方 / 故ロンメイス氏のユニバーサルデザイン7原則  
バリアフリーとユニバーサルデザイン / 人口の変化から考えること

## 2 ユニバーサルデザインの視点で考えてみる

ユニバーサルデザインの本質 / 公共建築を考える ……郵便局を例に  
働く場を考える ……オフィスを例に / 商品を考える ……UDグッドデザイン賞を例に  
そして住まいは？

## 3 住まいのユニバーサルデザインの取り組み

行政の最近の動き / 国際ユニヴァーサルデザイン協議会の活動  
大阪の住まいづくりコーディネーターの場合 / 川崎市の賃貸住宅の場合

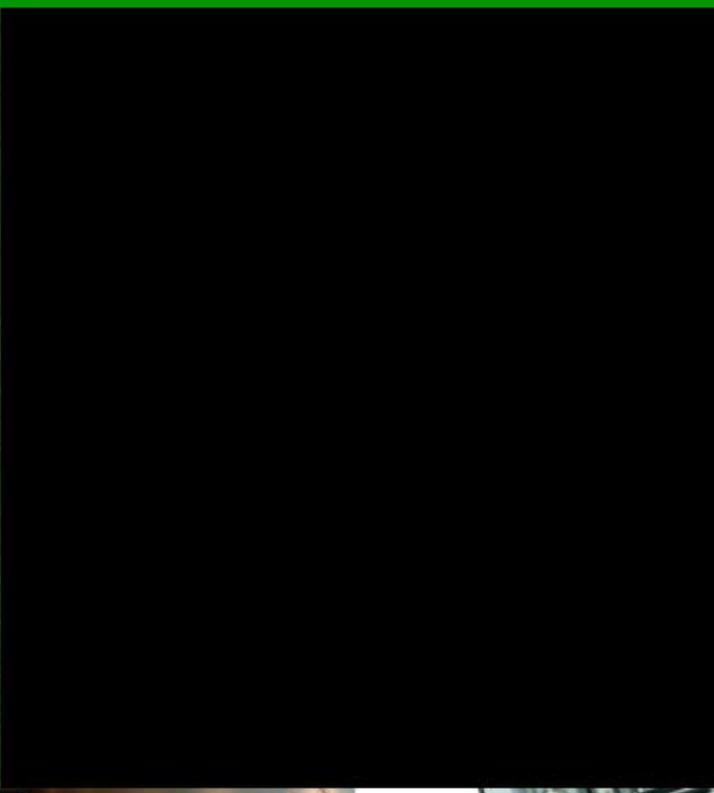
参考: 住まいの改良事例

# What is

ユニバーサルデザインとは何か？

# UD?

すぐれた身体能力に恵まれているのは、ごく一部の人々にすぎない



私たちは普通の人。ミスターアベレージ。



## ところが・・・ミスターアベレージは幻想

- ・人間だれでも、**歳をとれば身体機能が衰える。**
- ・それまでに、怪我や病気で**一時的に障害をもつ**こともある。



世の中に未来永劫、ミスターアベレージであり続ける人は存在しない



# 自立を困難にするバリア



バリアが無くなればすべての人々が豊かな生活を送れるはず



# ADA: Americans with Disabilities Act (障害をもつアメリカ人法)

ブッシュ前大統領 + ハロルド・ウイルク牧師



- 1990年に制定
- 雇用、公共サービスと交通、公共施設、通信など**社会領域での機会均等**を定めた。
- Disabled peopleを**People with Disabilities**という言葉に変更。**障害を人間の属性にすぎないという認識**を示した。

# ADA法によるバリアフリーの進展



# but...

これらのモノや環境は  
本当に使いやすく快適なのだろうか？

# 障害者のための特殊仕様



サービスを受ける側は  
どう感じるのだろうか？

JRエスカル

## これ見よがしの車椅子マーク

- ・供給側の視点 「こんなに障害者や高齢者に配慮しています。」
- ・ユーザーの視点 「使いやすければ、マークなんて関係ない。」
- ・特殊ではないこと。誰でも普通につかえること。  
=ユニバーサルデザイン



# ユニバーサルデザイン

## ユニバーサルデザインの定義

老若男女・障害の有無を問わず、できるだけ**すべての人々にとって使いやすく快適でわかりやすい製品・環境・情報づくりを、特殊な配慮を加えることなくめざす考え。**

A portrait of Ronald Mies, a man with a beard and glasses, wearing a light blue shirt. He is looking directly at the camera. The background is dark and out of focus, showing other people in a dimly lit room.

ロナルド・メイス (1941 ~ 98)

- ・ユニバーサルデザインの提唱者。
- ・1985年にこの言葉を使用

・UD7原則

Design for All

Inclusive Design

Lifespan Design

共用品 ( Kyoyohinn )

# ユニバーサルデザイン7原則

原則1. 公平さ (誰でも大丈夫)

原則2. 柔軟さ (どうやっても大丈夫)

原則3. 直感的・単純さ (考えなくても大丈夫)

原則4. 情報認知の容易さ (頑張らなくても大丈夫)

原則5. 誤用に対する寛容さ (間違っても大丈夫)

原則6. 身体的負担の少なさ (無理しなくても大丈夫)

原則7. 移動・使用空間のゆとり (どこに行っても大丈夫)

(原文: Center for Universal Design, 1997 / 和訳: JFMAユニバーサルデザイン研究部会)

# 原則1. 公平さ (誰でも大丈夫) Equitable Use

能力の異なる様々な人々にとって利用可能で、また市場性が高く、誰でも容易に入手可能である。



## 原則2. 柔軟さ (どうやっても大丈夫) Flexibility in Use

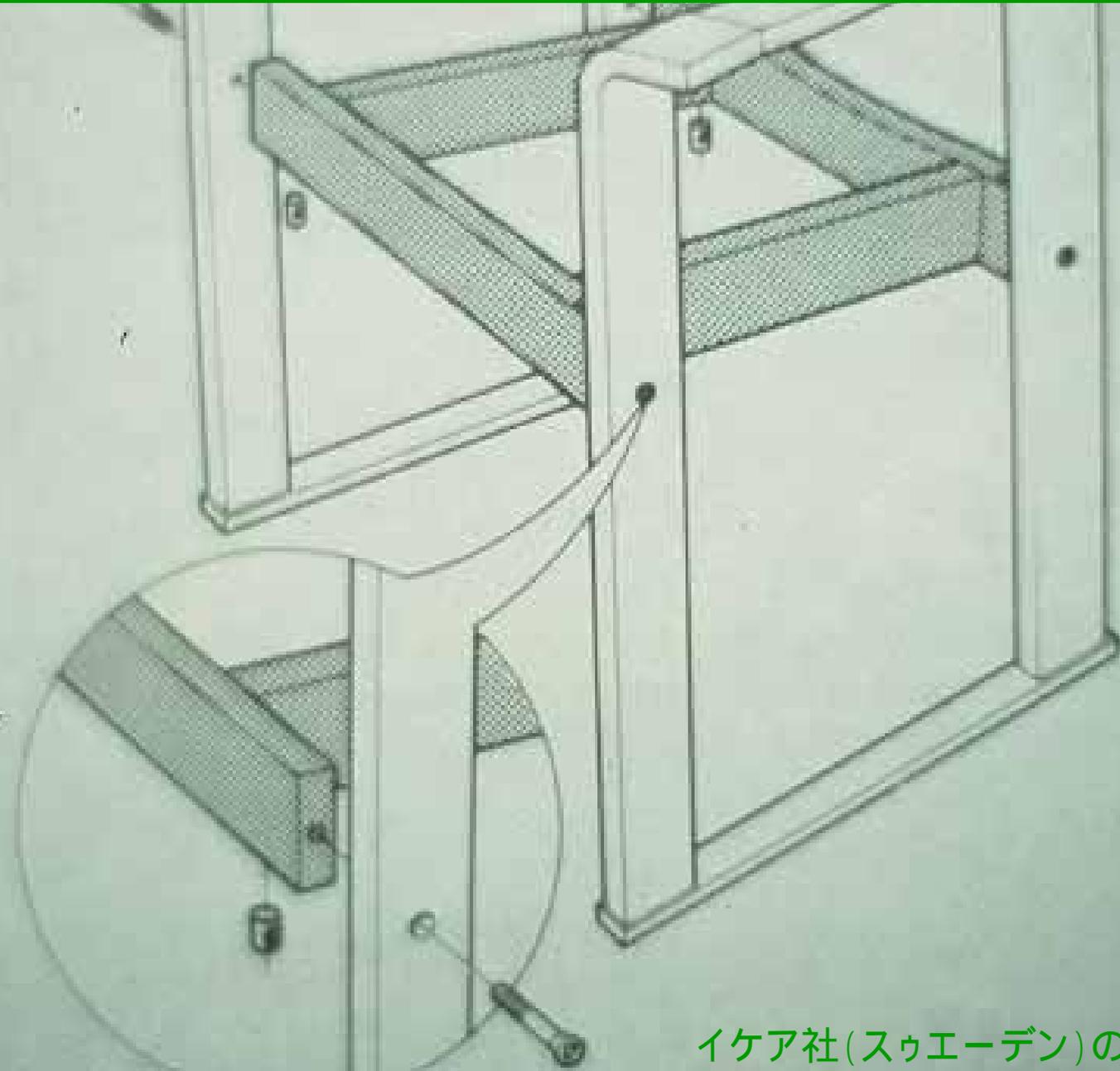
個々のユーザーの好みや能力に幅広く対応することができる。



フィスカーズ社(アメリカ)の左右兼用はさみ

# 原則3.直感的・単純さ (考えなくても大丈夫) Simple and Intuitive Use

ユーザーの経験・知識・語学力・現在の集中の度合いを問わず、ユーザーが使用方法を簡単に理解できる。



イケア社(スウェーデン)の製品組立図

# 原則4. 情報認知の容易さ (頑張らなくても大丈夫) Perceptible Information

ユーザーの周囲の状況や五感能力に関わらず、ユーザーに必要な情報を効果的に伝達することができる。



# 原則5. 誤用に対する寛容さ (間違っても大丈夫) Tolerance for Error

事故や不慮の操作によって生じる予期しない結果や危険性を最小限にするよう配慮されている。



# 原則6. 身体的負担の少なさ (無理しなくても大丈夫) Low Physical Effort

ユーザーは効率的かつ快適に、あまり疲れずに使用することができる。



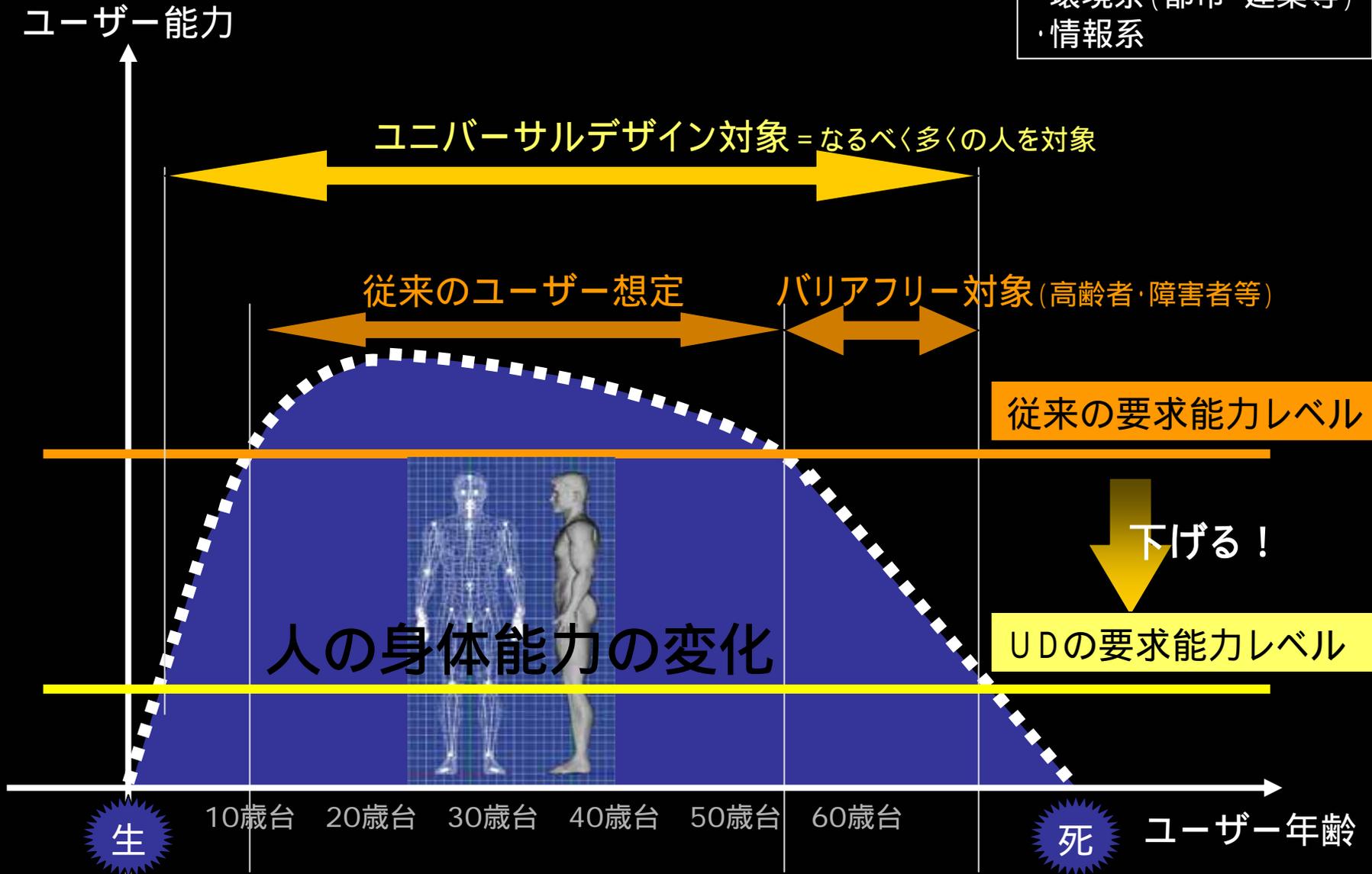
# 原則7. 移動・使用空間のゆとり (どこに行っても大丈夫)

ユーザーの体格、姿勢、移動能力を問わず、対象に近づき、操作・利用ができる適切なスペース・サイズを提供する。



# UDとバリアフリー

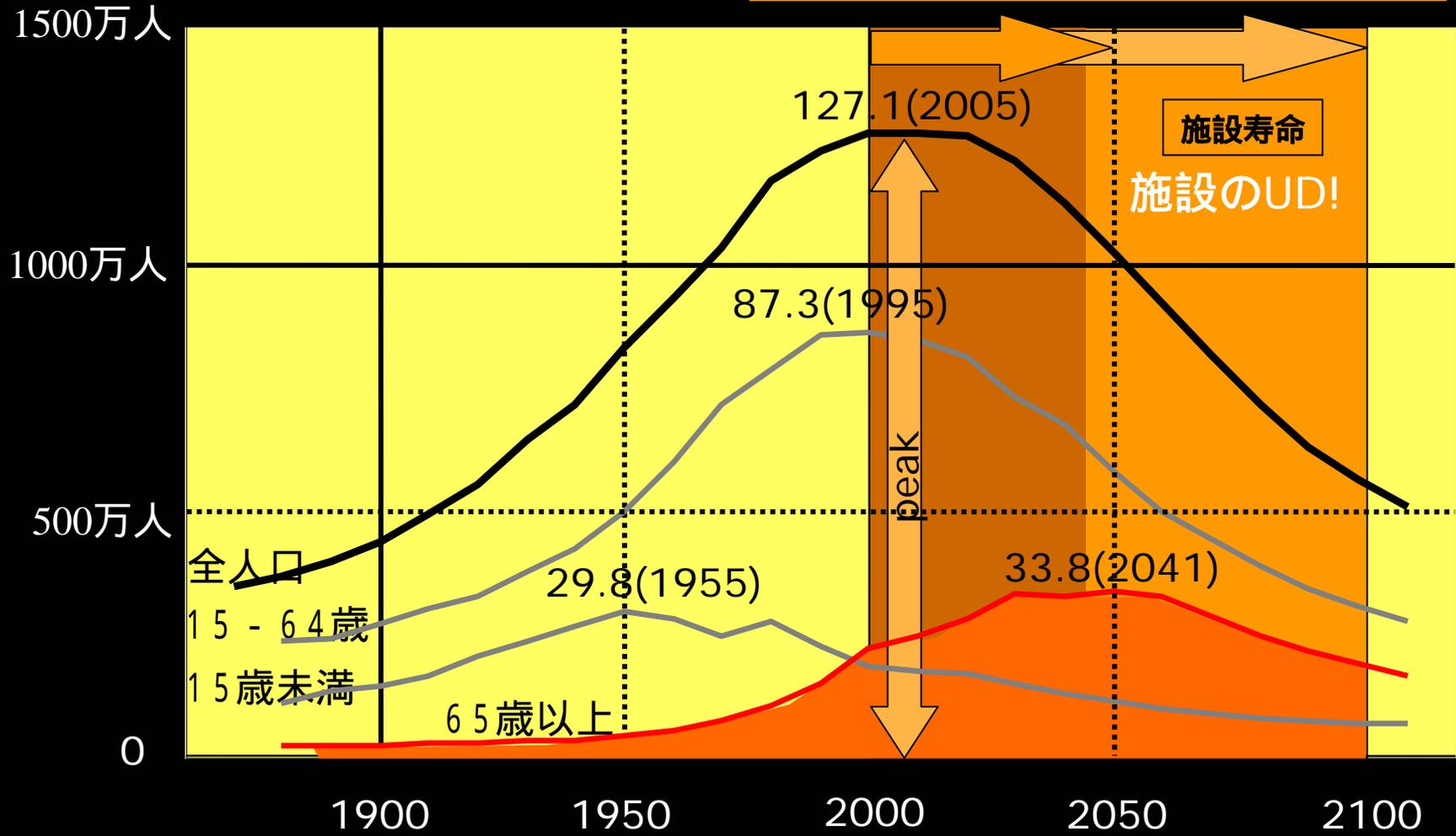
- ・プロダクト系
- ・環境系(都市・建築等)
- ・情報系



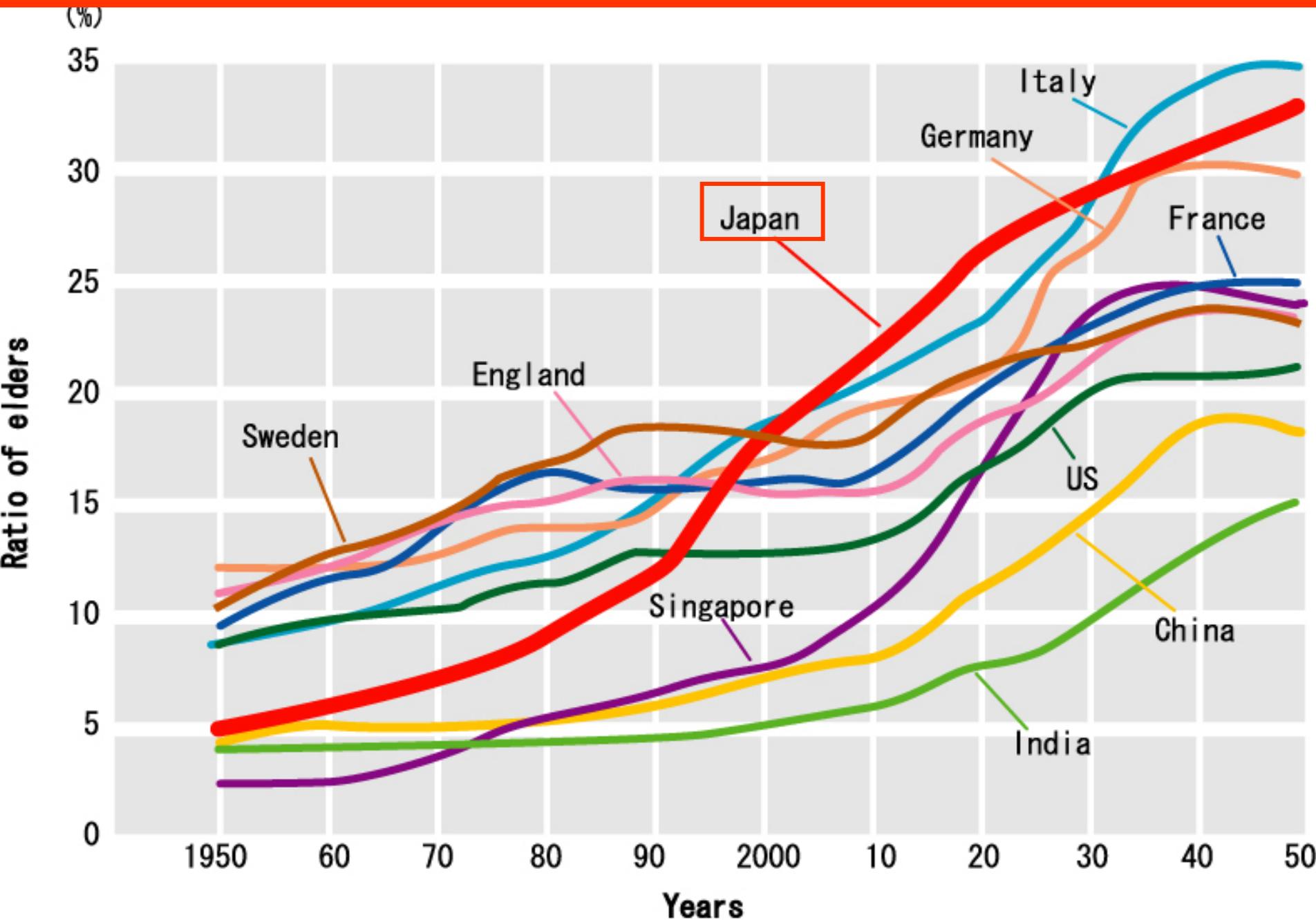
# 日本の人口推移

## 超高齢社会への突入と施設の寿命

現在、 65歳以上が全人口の1 / 5 (19.5%)  
2015年、 65歳以上が全人口の1 / 4  
2040年、 65歳以上が全人口の1 / 3



# 世界各国の高齢化進展状況(65歳以上)



# INDEX

## 1 ユニバーサルデザインとは何か

ユニバーサルデザインの考え方 / 故ロンメイス氏のユニバーサルデザイン7原則  
バリアフリーとユニバーサルデザイン / 人口の変化から考えること

## 2 ユニバーサルデザインの視点で考えてみる

公共建築を考える ……郵便局を例に / 働く場を考える ……オフィスを例に  
商品を考える ……UDグッドデザイン賞を例に / そして住まいは？

## 3 住まいのユニバーサルデザインの取り組み

行政の最近の動き / 国際ユニヴァーサルデザイン協議会の活動  
大阪の住まいづくりコーディネーターの場合 / 川崎市の賃貸住宅の場合

参考: 住まいの改良事例

# 公共建築を考える：郵便局の事例

若年層より、中高年層に郵便局利用者が多い。

郵便局のUD CS(顧客満足度)

ユニバーサルサービスを達成するため、施設はアクセシブルでなければならない。

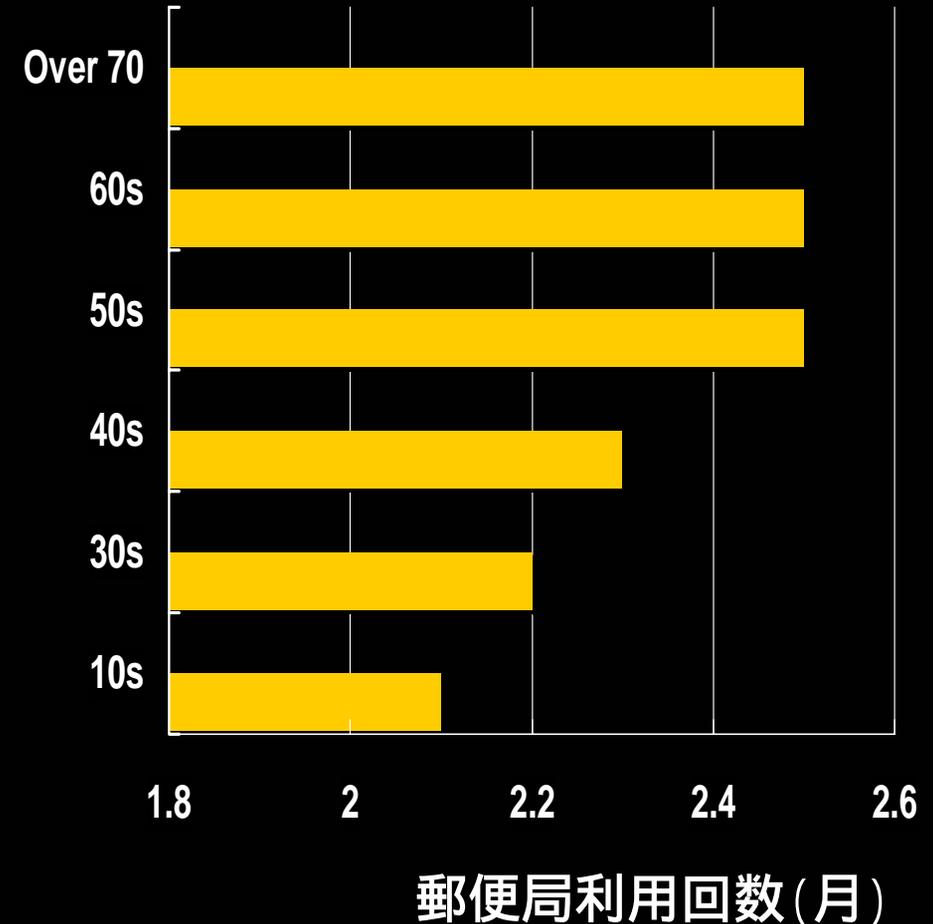
郵便局施設には、UDが必要。

郵便局のアクセシビリティ  
施設配置 × 施設のUD

(立地)

(つくりかた)

年代



# ハード環境整備の現状

## これまでの状況

以前より「高齢者・身体障害者の利用を考慮した施設設計資料」により、バリアフリーの観点から、郵便局等の施設整備を進めてきた。

- ・整備レベルは、ハートビル法の利用円滑化基準(基礎的基準)に相当
- ・HB法の範囲(2000m<sup>2</sup>以上)を越えて、全郵便局のお客様空間を対象。
- ・段差解消、出入口幅員確保、視覚障害者誘導ブロック設置、駐車場等。

全国約1260局の普通局(大きな郵便局)のうち、100%整備済

全国約20000局の特定局(小さな郵便局)のうち、約60%整備

(北海道内は約70%)

## 現在の課題

未だ途上。施設、家具、ATM、筆記台、記入用紙、職員対応など、よりトータルなUD視点から整備が必要。出来るところから、取組中。

北海道ネットワークセンターでは2004年重点施策に、

北海道内の特定局のUD状況調査を実施中。



# バリアフリー化進展率

(2002年時点データ)

国有局  
平均100%

自標 100%

借入局  
平均 56%

100%

68%

北海道

東北

関東

東京

信越

北陸

東海

近畿

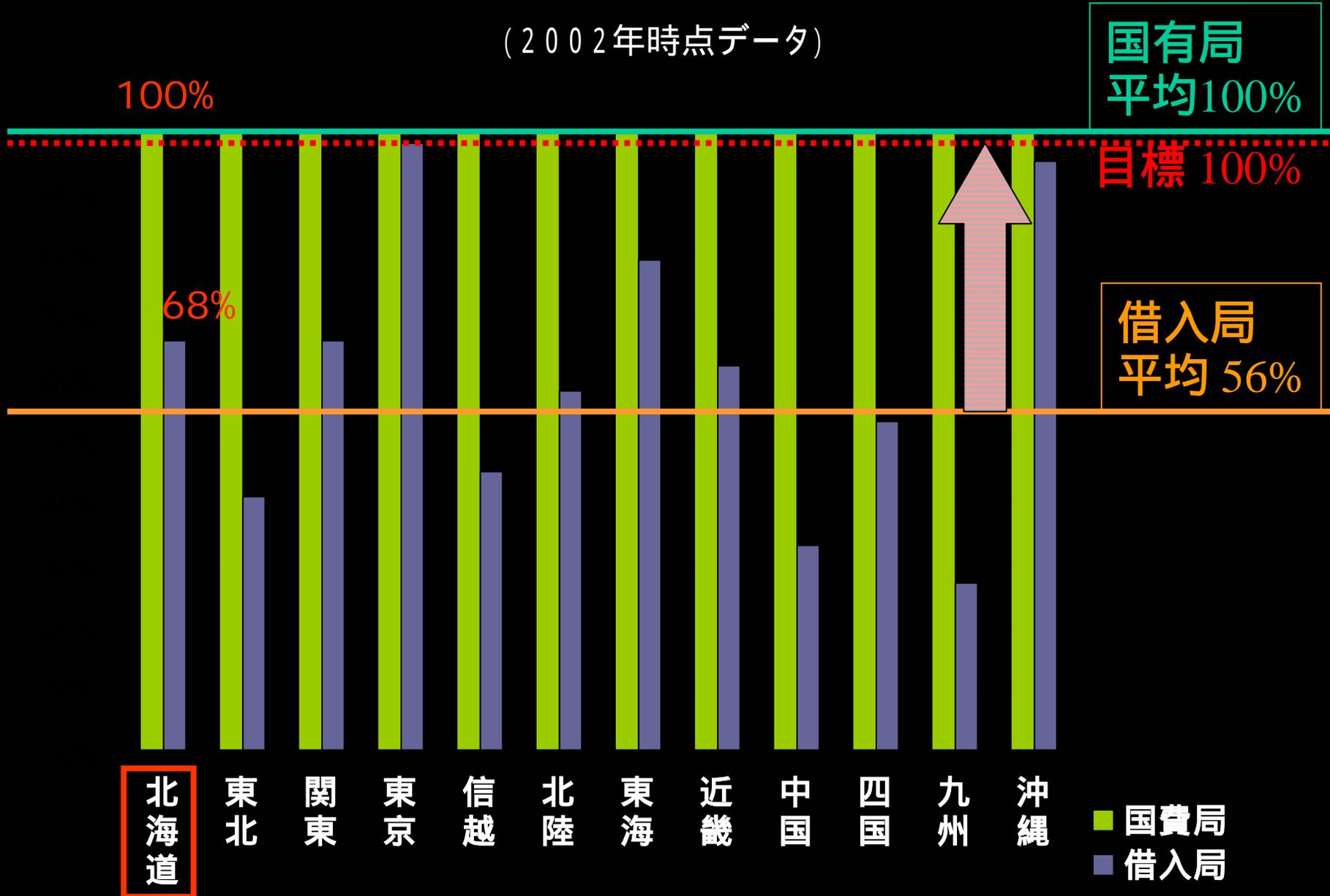
中国

四国

九州

沖縄

■ 国費局  
■ 借入局



# 近年の実例

北海道 K 郵便局の場合(2003年開局)



視覚障害者用床材  
自動ドア



使いやすいATM  
(貯金事業部)

ロビーから直接利用できる多目的トイレ



視認性の良い  
カウンターサイン



補助犬OK

車椅子でも使える  
ローカウンター



車椅子が使いやすい  
ローカウンター



ベビー用ベッド  
(郵便局独自)

# 郵便局UDの理念 strategy of JP's UD ,2000

「あまねく公平(前島密、約130年前)」というコンセプト



JPのミッションとしてのユニバーサルサービス  
「あまねく公平」を言い換えれば、ユニバーサルサービス



ユニバーサルサービスのためにはUDが不可欠  
ユニバーサルな施設配置 x 施設のユニバーサルデザイン(つくり)



郵便局UDの理念  
Universal Design for Universal Services

# Universal Design for Universal Services



2000

- 1 わかりやすい Recognizable
- 2 入りやすい Accessible
- 3 使いやすい Usable
- 4 安全 Safe
- 5 気持ちよい Comfortable

## ユニバーサルデザイン7原則

- 1 公平なデザイン Equitable Use Ron Mace  
1997
- 2 柔軟な利用が可能 Flexibility in Use
- 3 単純で直感的 Simple and Intuitive Use
- 4 知覚情報 Perceptible Information
- 5 間違った使用法への寛容性 Tolerance for Error
- 6 少ない肉体的労力 Low Physical Effort
- 7 接近・使用へのサイズ・スペース Size and Space for Approach

# 働く場を考える：オフィスの事例

- ・ハートビル法改正(2003.4)で、事務所新築は努力義務化。
- ・ユニバーサルデザイン政策大綱(2005.7国土交通省)
- ・高年齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(2006.2 閣議決定) 交通バリアフリー法とハートビル法を一本化
- ・高年齢者雇用安定法改正(2006.4)施行。厚労省調査。
  - 「定年延長」5.9%
  - 「定年廃止」0.5%
  - 「継続雇用制度(再雇用など)」93.6%
- ・企業の障害者雇用率の公表の動き。(NPO・情報公開進展)

# オフィスUDの背景・実現

急速な高齢化の進展  
女性・障害者の社会進出  
外国人ワーカーの増大  
今後進むであろう企業の定年延長



オフィスワーカーの一層の多様化

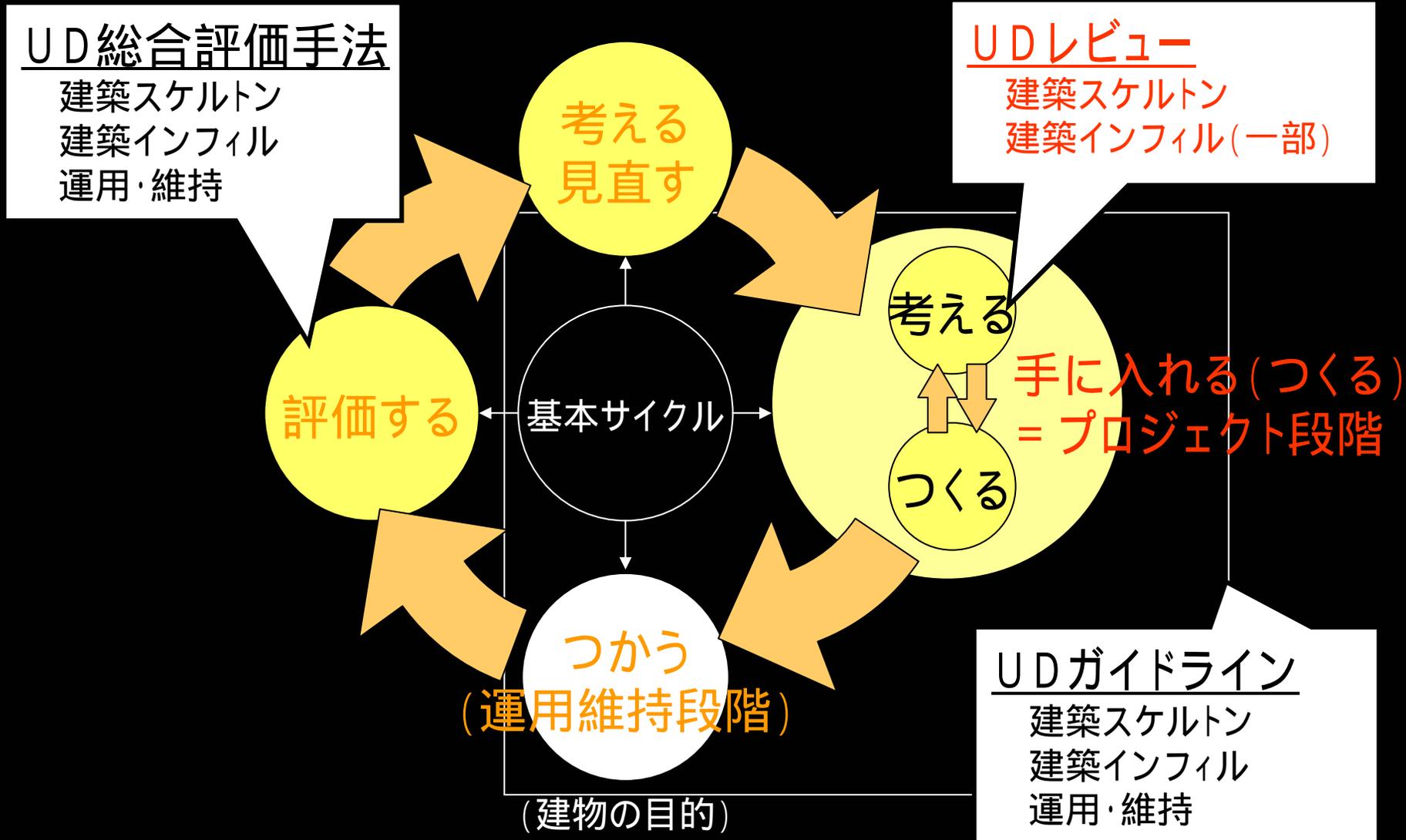
オフィスの計画・運用において、ユニバーサルデザインの考え方が有効

オフィスのUDを実現するツール  
(社)日本ファシリティマネジメント推進協会 ユニバーサルデザイン研究部会

UDガイドライン

UD総合評価手法  
(CASUDA)

# UD導入の道具立て



# UD総合評価手法(CASUDA)

プロジェクト管理段階、運営維持段階において、UDを実践するために不可欠な事項(CSF) 33項目を定めた。

## 建築計画(スケルトン)

### 施設へのアクセス

- 敷地出入口
- 敷地内通路
- 駐車場
- 駐車場からの歩道
- 車寄せ

### フロアへのアクセス

- 建物の出入口
- エントランスホール
- 受付
- 待合スペース
- 廊下
- 階段
- エレベータ・エスカレータ

### 単位空間

- トイレ
- 湯沸室

14項目

## 建築計画(インフィル)

### スペースプランニング

- ゾーニング
- レイアウトニング

### 単位空間

- ワークステーション
- 業務支援空間
- 情報管理空間
- 生活支援空間

### 環境計画

- 光環境
- 色彩計画
- 有害物質の抑制
- 内装仕上げ・室内建具

### サイン

- サイン

11項目

## 運営維持

### 多様性への配慮

- 個別ニーズへの対応
- 快適な執務環境の整備
- 利便性への配慮
- 執務スタイルへの配慮

### 安全性の確保

- 執務空間に関わる安全性
- 室内照明に関わる安全性
- 健康・安全管理
- 運営・維持
- 緊急事対策

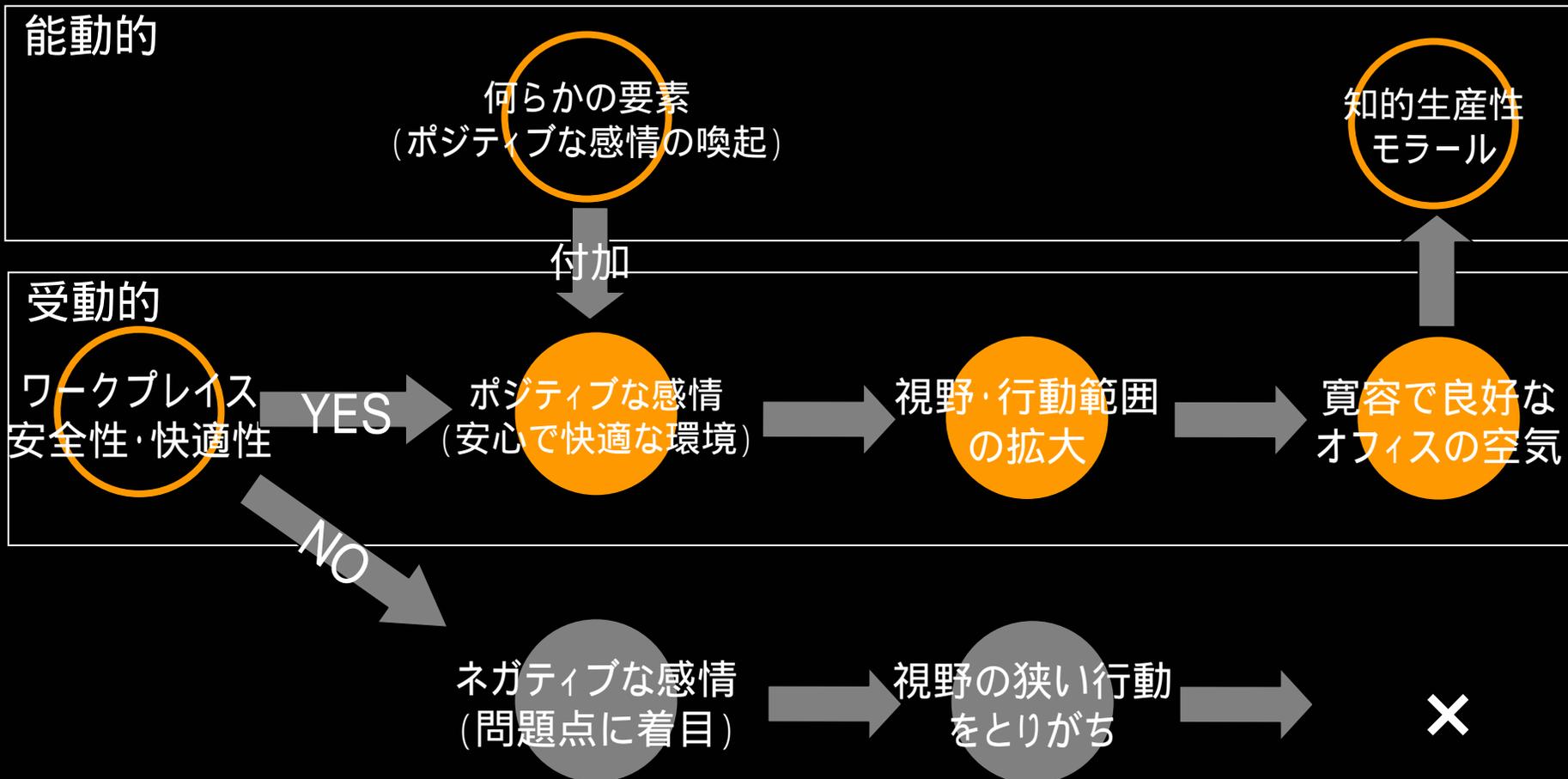
8項目

# 安全で快適な環境

フレドリクソン教授(ノースキャロライナ大学心理学、1988)

Broaden-and-built theory of positive emotion

(JFMAカレント2006.5 市川陽子氏「満足度の高いワークプレイスはチームワークもいい！」記事)



# 商品を考える：グッドデザイン・ユニバーサル賞

1997



1998



1999



2000



2002



2001



2003



ユニバーサルデザイン  
ロングセラー

起源はUD

ライター

眼鏡

長い靴べら

洗浄便座

自動ドア

エレベーター

タイプライター

(キーボード)

録音機

電子メール

イラスト



Japan Industrial Design Promotoion Organization

Good Design UD Award 2004



Kyocera Cellular Phone



OXO Angled Measuring Cup

# まとめ：UDとはグッドデザイン

Universal Design is Good Design

UDとは、簡単にいえばグッドデザイン(良い設計・計画)のこと

ただし、ユーザー(使い手)にとってのグッドデザイン

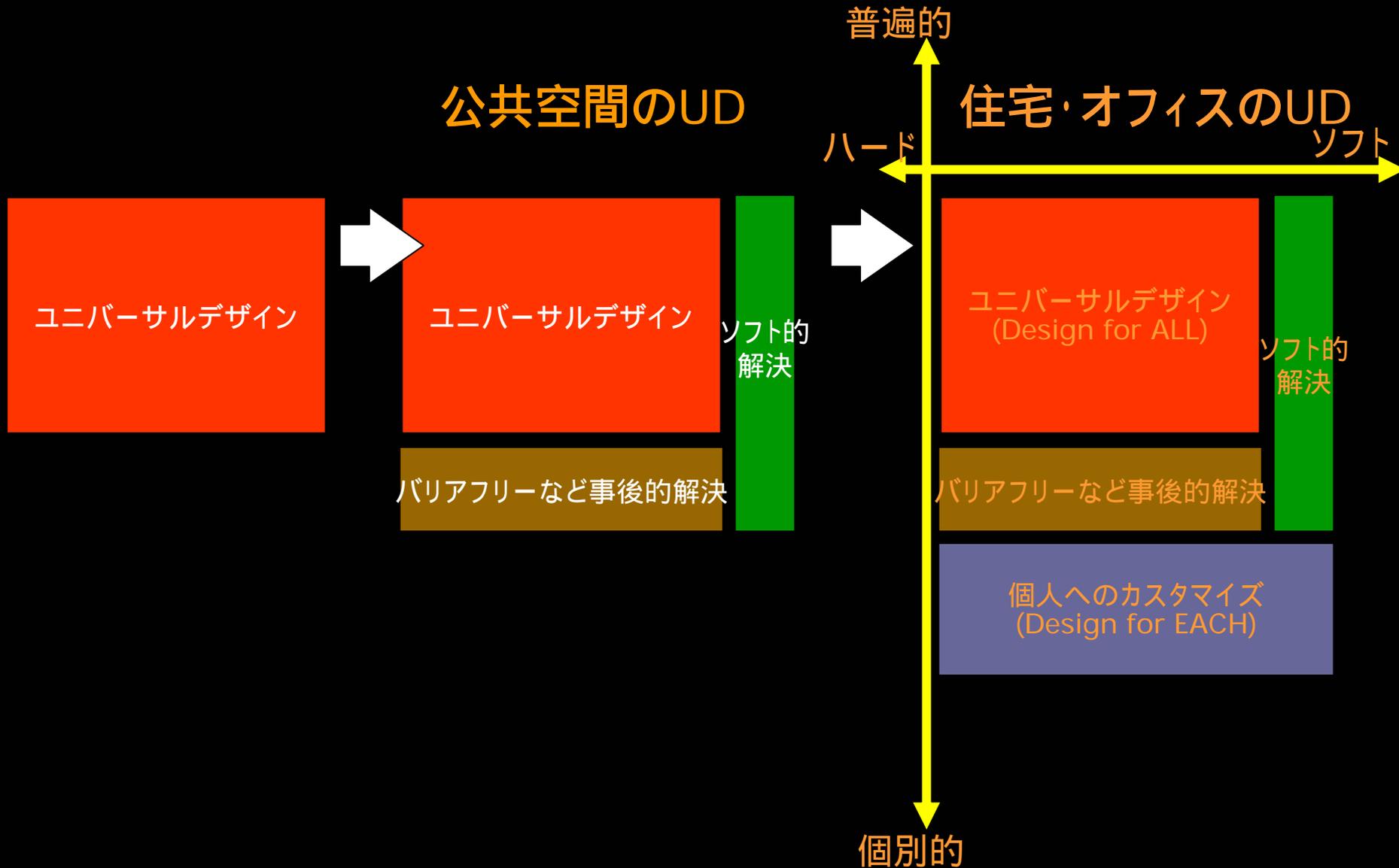
バッドデザインだと、バリアフリー化などの事後的補完が必要。  
一般的には、より多いコストが掛かる。

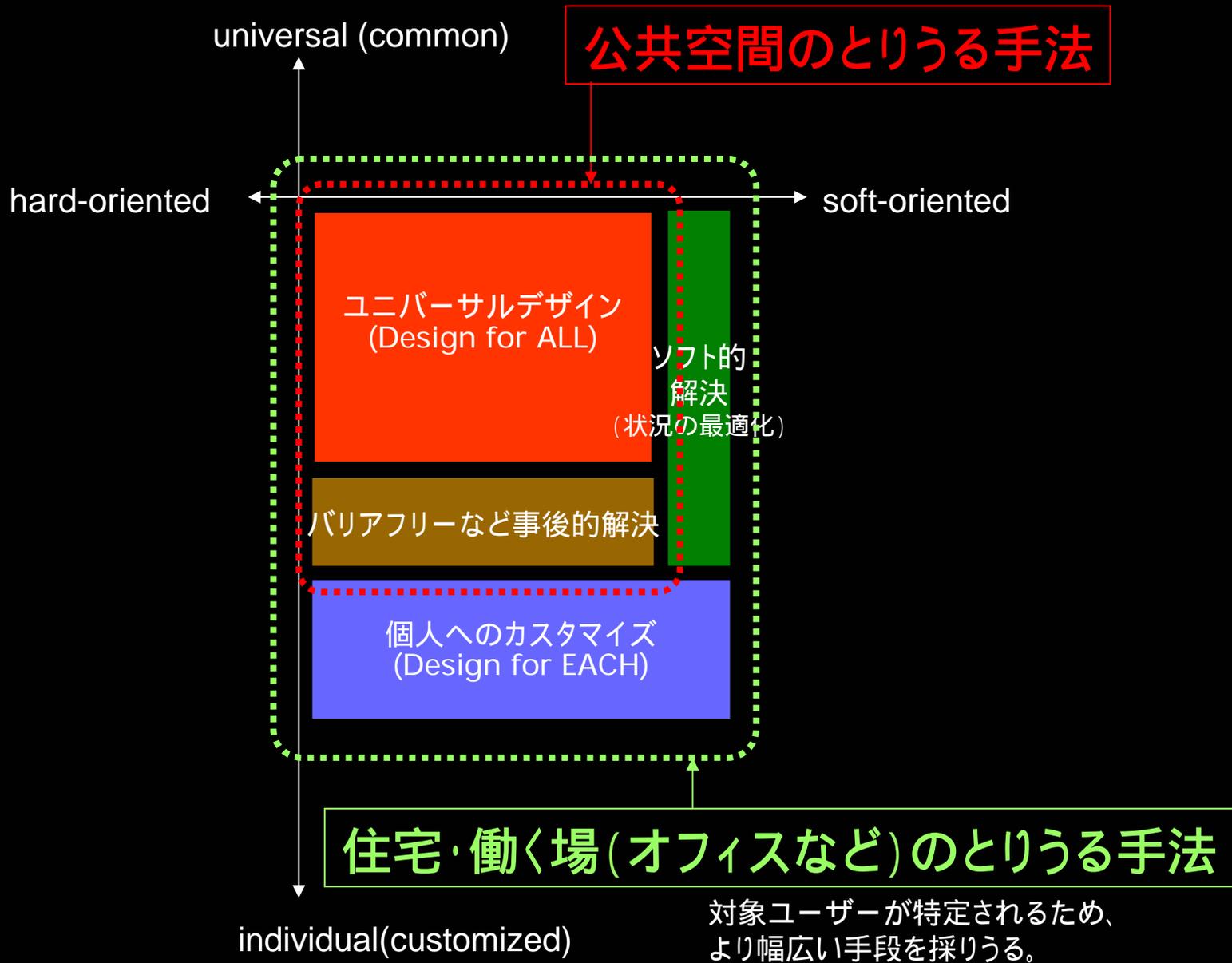
しかし、全てをはじめからUDにしておくことが最良とは限らない。

あるいは、人的対応などのソフト的解決もある。  
ソフト的解決が、より好ましいケースもある。

UD、事後的解決、ソフト的解決の最適なバランス

# UDの領域





それでは、住宅のユニバーサルデザインは？

# INDEX

## 1 ユニバーサルデザインとは何か

ユニバーサルデザインの考え方 / 故ロンメイス氏のユニバーサルデザイン7原則  
バリアフリーとユニバーサルデザイン / 人口の変化から考えること

## 2 ユニバーサルデザインの視点で考えてみる

公共建築を考える ……郵便局を例に / 働く場を考える ……オフィスを例に  
商品を考える ……UDグッドデザイン賞を例に / そして住まいは？

## 3 住まいのユニバーサルデザインの取り組み

行政の最近の動き / 国際ユニヴァーサルデザイン協議会の活動  
大阪の住まいづくりコーディネーターの場合 / 川崎市の賃貸住宅の場合

参考: 住まいの改良事例

# 最近の行政の動き(国交省)

## ハートビル法 + 交通バリアフリー法

= 高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律  
(2006.2 閣議決定)

## 住宅行政:「ユニバーサルデザインの住宅整備が不可欠」と認識

- ・持家住宅: 住宅金融公庫融資(BF住宅への金利優遇)  
地域住宅交付金(地公体のBFリフォーム補助)
- ・賃貸住宅: 公営住宅の高齢者使用対応(H3-)  
品確法で住宅性能表示(H11-)  
高齢者の居住の安定確保に関する法律(H13-)  
(バリアフリー賃貸住宅を促進)
- ・「あんしん賃貸支援事業」: 高齢者適合の民間住宅情報提供
- ・「高齢者の住み替え支援制度」: 持ち家からBF住宅へ
- ・「住生活基本法案(国会提出中)」: BF化率明示、住宅UD推進

# IAUD (国際ユニヴァーサルデザイン協議会) の活動

## 国際ユニヴァーサルデザイン協議会

- ・ 総裁: 三笠宮親王、会長: 山本富士通名誉会長(2003.2-)
- ・ 参加企業141社。国内最大のUD推進団体。
- ・ 7つのUDプロジェクト

住空間、移動空間、労働環境、余暇、まちづくり  
衣、食

## 住空間のユニバーサルデザイン

- ・ 「誰もが心豊かに暮らせる住空間づくり」
- ・ 先進事例から学ぶ
  - ・ 社会基盤の機能性向上(先進性・IT、安全・優しい)
  - ・ 社会的ニーズ(社会性・コミュニティ、環境配慮)
  - ・ 個人的ニーズ(多様性・選択性、快適・楽しい・美しい)
- ・ 入浴の日本の独自性(良い面悪い面)。新しい入浴のあり方。

# 住空間の先進事例から見たUD解決の視点



# 大阪の住まいづくりコーディネーターの場合

## (有)住まいの想像パートナーズ 近藤裕人氏の試み

- ・クライアントと設計者・施工者の「通訳」。
- ・クライアントの要望を、具体的に引き出すのが役割。
- ・「新しい住まいでどんな暮らしをしたいのか」イメージを共有。
- ・「小さなUDのアイデアを有機的に組み合わせる。」(近藤)



玄関までのアプローチ。



合理的な家事を可能とするキッチン・カウンター。



キッチンで座って料理ができる座面付きワゴン。



各部屋に電源 + LAN 端末 + TV 端末。

「インターネットをガンガン楽しむ高齢者のためのマルチメディア住宅」

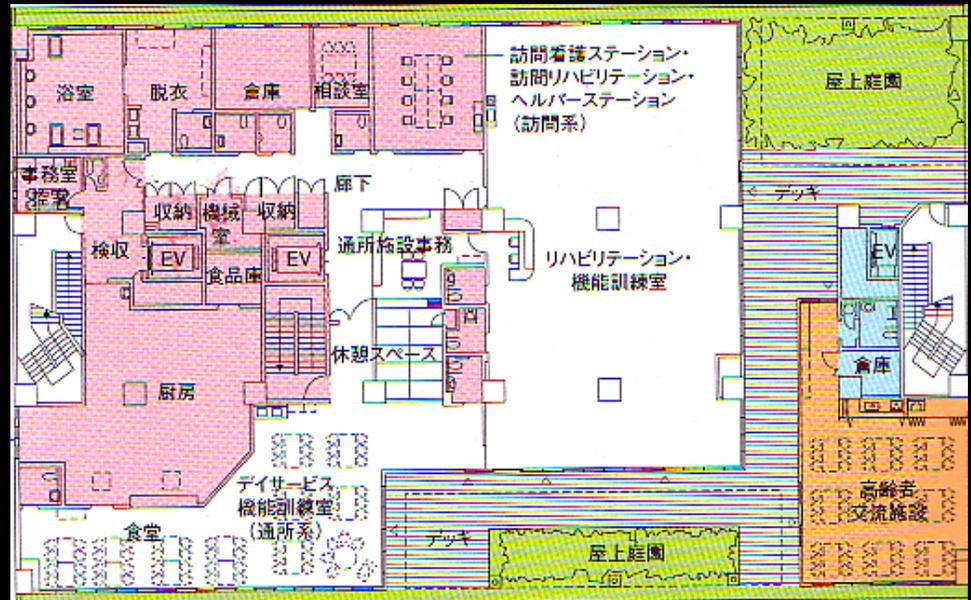
# 川崎市の賃貸住宅の場合

## 「ビバース日進」= 賃貸住宅 + 病院 (川崎市住宅供給公社)

- ・老朽化で建替予定の民間病院と公営住宅を一体化
- ・1 - 3階: 馬嶋病院
- ・4階: 在宅総合センター(デイサービス・訪問看護)、交流施設等
- ・5 - 11階: 高齢者向け優良賃貸住宅55戸、一般賃貸住宅10戸



4階屋外テラス



4階平面図

# INDEX

## 1 ユニバーサルデザインとは何か

ユニバーサルデザインの考え方 / 故ロンメイス氏のユニバーサルデザイン7原則  
バリアフリーとユニバーサルデザイン / 人口の変化から考えること

## 2 ユニバーサルデザインの視点で考えてみる

公共建築を考える ……郵便局を例に / 働く場を考える ……オフィスを例に  
商品を考える ……UDグッドデザイン賞を例に / そして住まいは？

## 3 住まいのユニバーサルデザインの取り組み

行政の最近の動き / 国際ユニヴァーサルデザイン協議会の活動  
大阪の住まいづくりコーディネーターの場合 / 川崎市の賃貸住宅の場合

**参考：住まいの改良事例**

# 事例1 (新築)

## 建替建設のポイント

脳梗塞の後遺症がある50歳代の父が、2年間の入院生活の後、家を建て替え。安全に生き甲斐を持って生活できる住宅づくりが希望。

### 居住者

父：50歳代。脳梗塞の後遺症あり。視野狭窄があるが日常生活に問題はない。

娘夫婦：娘・夫ともに30歳代

### 改修主旨

脳梗塞となった父親と娘夫婦が同居する二世帯住宅への建て替え。

これまでのライフスタイルを尊重し、なおかつ安全に生活できる住宅の整備

## 業務の流れ

依頼(改修・新築)

面談・現場調査(生活シーンごと)

専門職の見解(医学療法士、ケアマネジャー他)

生活動作の検討(生活シーンごと)

生活プランの検討

設計

工事

評価



## 建替建設コスト

仮設工事	85万円
基礎・躯体工事	992万円
仕上工事	1147万円
設備工事	856万円
外構工事	170万円
<hr/>	
総工事費	3250万円
<hr/>	

### 公的資金の活用

- ・住宅金融公庫融資 1200万円
- ・介護保険住宅改修費 18万円  
(新築後の手摺取付)

## 建替後の感想

- ・安心感が増した。
- ・生き甲斐を感じる生活ができるようになった。
- ・近隣住民との触れあいも多い。
- ・生活のペースをつかむことができた。

# 事例2 (改修)

## 改修の必要性

慢性関節リウマチの60歳代主婦が、1年前から歩行時の痛みが強くなり、段差の昇降がむずかしくなった。夫の退職を機に改修する。

### 居住者

夫: 60歳代。腰痛はあるが健康。

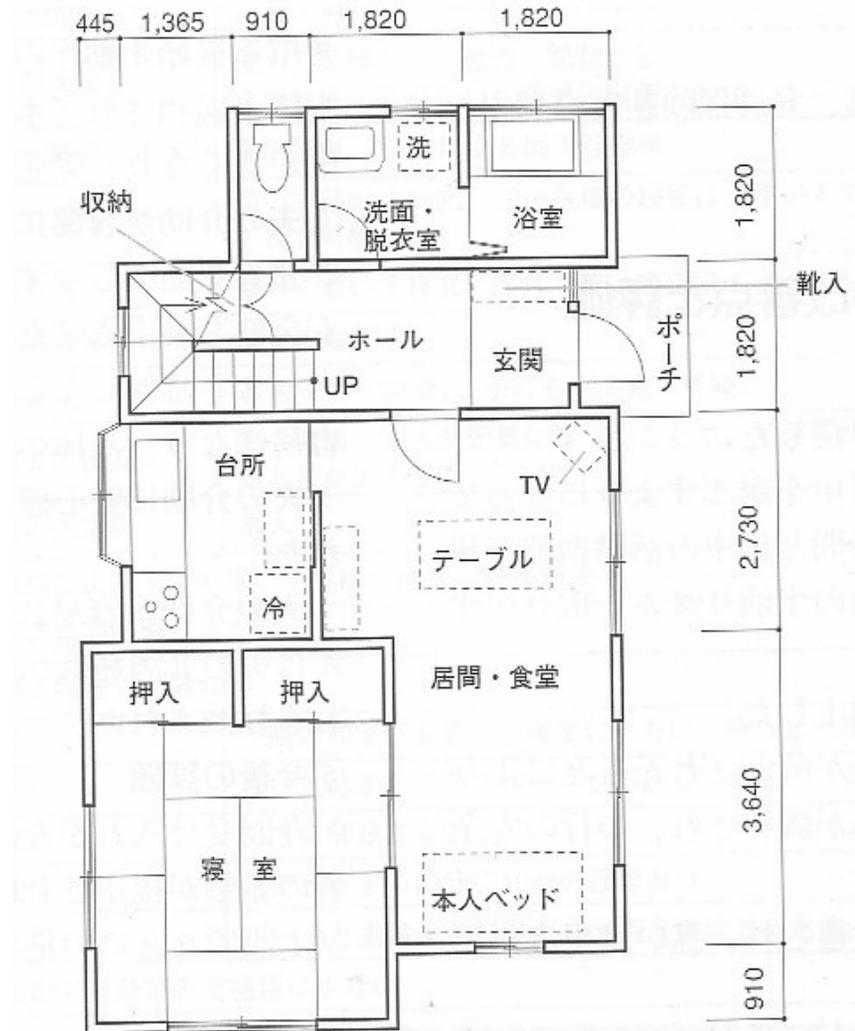
妻: 慢性関節リウマチ。屋内は介助歩行。屋外は車椅子。(要介護認定4)

### 改修主旨

寝室・居間・トイレの安全な移動空間確保  
トイレの介助を容易にできるように整備  
将来の車椅子使用に対応できるように動線を確保

(2000年の事例)

1階部分(改修前)



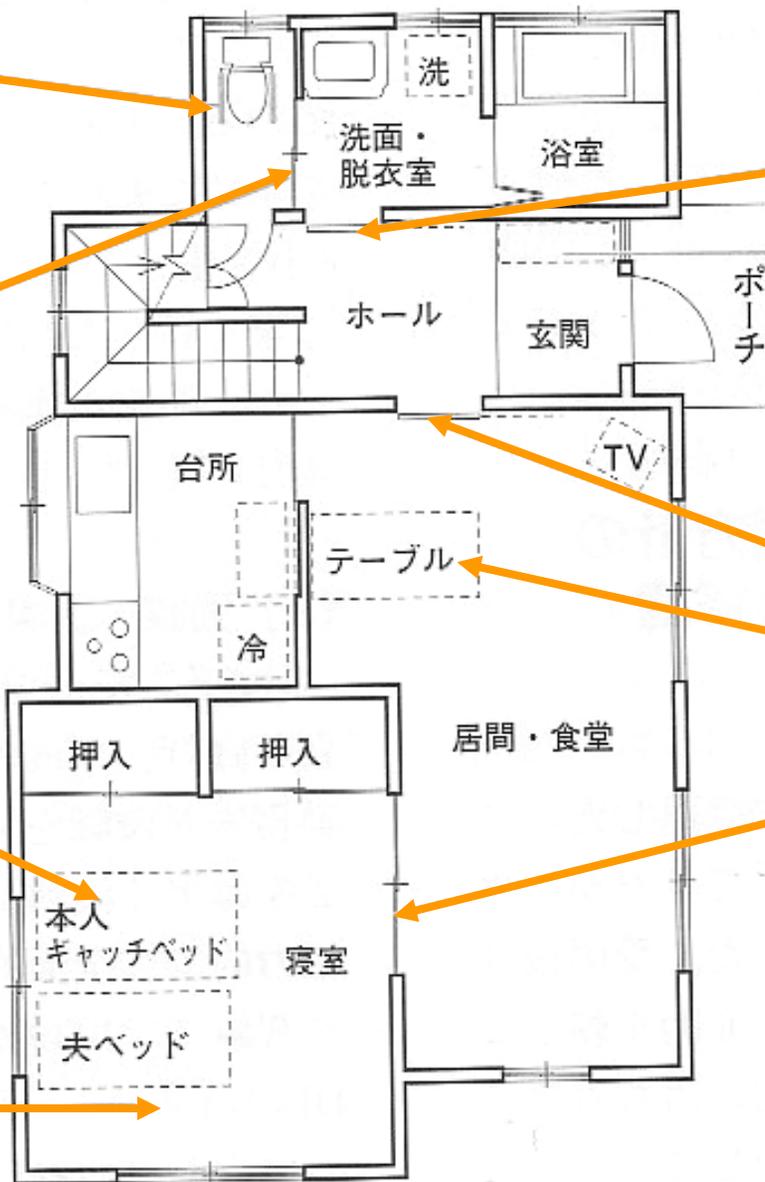
# 改修内容

トイレ  
立ち上がり補助便座。  
立ち上がり動作時の痛  
みをできるだけ少なく  
できるように取り付け  
た

トイレの出入り口を新  
設。段差なく移動で  
きる。介助スペースに洗  
面・脱衣室を活用

ベッドからの起き上  
がりが容易になった

床面を下げて居間  
の高さにそろえた



引き戸に変更し、段差解消

靴入

引き戸に変更し、段差解消

家具位置  
変更

V溝レールを設置。戸車  
付きの引き戸に変更



## 改修コスト

寝室	68万円
居間	14万円
トイレ	58万円
洗面・脱衣室出入口	12万円
<hr/>	
総工事費	152万円

### 公的資金の活用

・介護保険(住宅改修費)	18万円
・公的融資	40万円

## 改修後の感想

- ・生活リズムを取り戻した。
- ・移動の安全性が向上した。
- ・トイレの環境が改善。高い満足度。
- ・夫の介助が容易になった。
- ・気兼ねが少なくなった。

# 事例3 (改修)

## 改修の必要性

夫は1年前に交通事故で脊椎損傷による両下肢麻痺。車椅子生活を余儀なくされている。復職に向けて、一戸建ての中古住宅を購入。改修後に引っ越しの予定。

### 居住者

夫: 30歳代。脊椎損傷による両下肢麻痺

妻: 健康

子供: 7歳、4歳

### 改修主旨

車椅子での移動動線確保

ADLの自立を図るよう環境整備

外出路の確保

(2000年の事例)

## 1階部分(中古住宅、改修前)

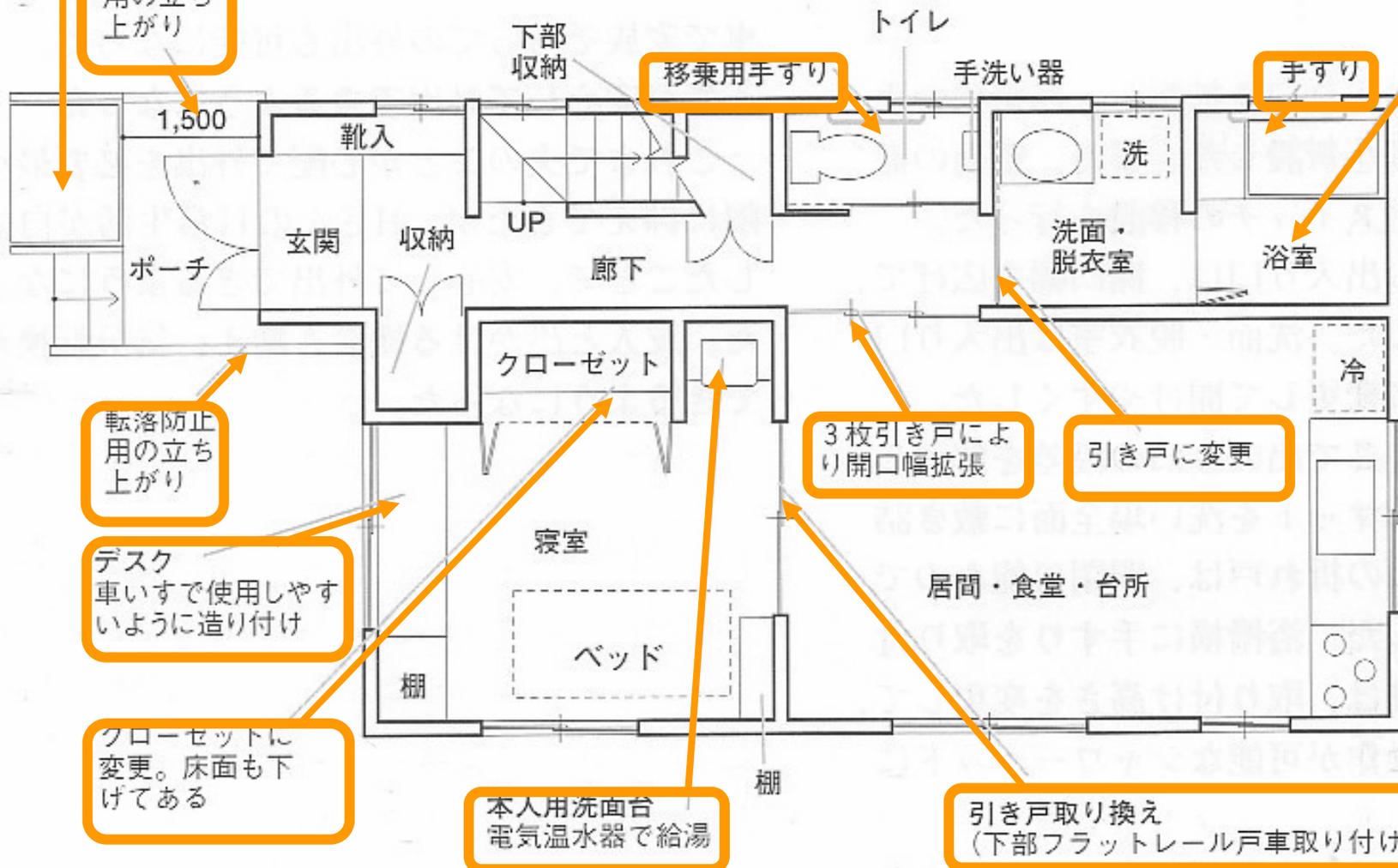


# 改修内容

— 手すり位置

段差解消機  
900mm×1,200mm

転落防止  
用の立ち  
上がり



## 改修コスト

寝室	85万円
居間・食堂	25万円
トイレ	32万円
浴室	17万円
洗面・脱衣室出入口	14万円
玄関	155万円
<hr/>	
総工事費	328万円

### 公的資金の活用

・自治体住宅改修費助成 75万円

## 改修後の感想

- ・ADLが自立。  
(すべての部分を家族で共有)
- ・子育てに参加できるようになった
- ・自立して外出できるようになった。  
(夫が車を運転し家族で外出。)
- ・妻が安心して外出できるようになった。

ありがとうございました

似内志朗

日本ファシリティマネジメント推進協会  
調査研究委員会ユニバーサルデザイン研究部会



UDに関わってきて、私自身が考えたこと

# UDとダイバーシティはコインの裏表

ダイバーシティ = 多様性

UDは、均一的と言うより、むしろ多様性への寛容さ  
「違い」をプラスへと変える

Design for ALL と Design for EACH

あるグローバル企業の多様性(diversity)への理念

人々の身体的特徴の他に、信条や宗教、学歴や生き立ち、嗜好など、それぞれの持つ背景や立場の多様性を理解し、同質化するのではなく異質であることを尊重し合うことにより、多様なアイデア、多様なスキルを最大限に発揮させ、チームとしての能力を最大化させる...

# 「匠の技」にUDのヒントがある

(住宅改修before-after)

「匠」が、従来の建築家番組と異なるのは、真にユーザーのニーズに対し応えようという番組の視点。 = GOOD DESIGN

(プロセスと良い結果)

- ・高いユーザビリティへのプロフェッショナルな解決・アイデア
- ・適切なコストと既存資源の有効利用
- ・期待を超える快適さ
- ・住み手の「記憶」「想い」への心配り

UDに求める要素の多くがある。UDを考えるヒントがある。

では、ユーザーが不特定多数である公共施設は、どのように計画されるべきか？

一般解による解決。 UDレビューは手法のひとつ。

# UDが注目される2つの背景

## 福祉・バリアフリー的な流れ

= 社会的責任の視点 (viewpoint of social responsibility)

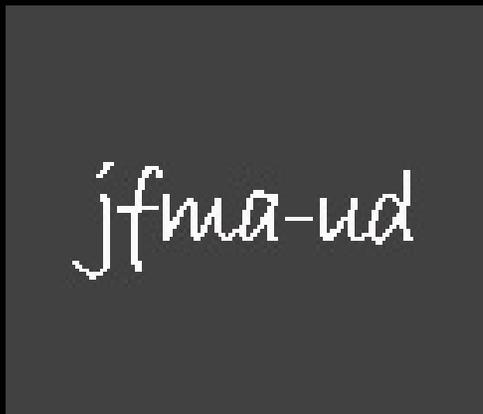
- ・人権          公平・フェアネス
- ・高齢者・障害者(バリアフリー)          全てのユーザー(UD)

## ユーザー満足度

= マーケティングの視点 (viewpoint of marketing)

- ・工業社会          知識社会
- ・供給者の論理          ユーザーの論理(UD)
- ・若年者の市場          シニアの市場

# JFMA-UD研究部会 (2002-)



# JFMA-UD研究部会 (2002-)

<p>ミッション</p>	<p>ワークプレイスへのUD導入の価値を明らかにし、 UD導入の道具立てをつくる (推進や啓蒙ではなく、「触媒」の立ち位置)</p>		
<p>2002</p>	<p>国際UD会議(横浜)</p>	<p>WWP横浜会議</p>	<p>国内企業調査(JFMA)</p>
<p>2003</p>	<p>WWPプラハ</p>	<p>WWPダラス</p>	<p>建築学会大会</p>
	<p>FM国際大会</p>	<p>FM国際大会</p>	<p>企業事例セミナー</p>
<p>2004</p>	<p>国際UD会議(ブラジル)</p>	<p>ソウル大学講演</p>	<p>米国企業調査(IFMA)</p>
	<p>FM国際大会</p>	<p>UDガイドライン発刊</p>	<p>北海道UDシンポジウム</p>
<p>2005</p>	<p>WWPフィラデルフィア</p>	<p>FM国際大会</p>	<p>UDレビュー(UDC)</p>
	<p>UDビル評価</p>		
<p>2006 (予定)</p>	<p>国際UD会議(京都)</p>	<p>建築学会大会</p>	<p>JFMAフォーラム</p>
	<p>CASUDA発刊</p>		
<p>メンバー (12-32)</p>	<p>アイデザイン、ITOKI、ウジケ、NTTファシリティーズ、FMネット、オフィスK、公共建築協会、構造計画研究所、高齢者研究・福祉振興財団、ジーバイケー、JFMA事務局、清水建設技術研究所、東京電力、大成建設、竹中工務店、東京日動海上ファシリティーズ、日本設計、日本経済社、日本郵政公社、野村不動産、プラススペースデザイン、富士通病院、バリアフリーカンパニー、ミシガン大学、森ビル、ユニバーサルデザインコンソーシアム</p>		

# 自己紹介に代えて UD as lifework

郵政省 / 郵政事業庁 / 日本郵政公社

ライフワーク

設計実務

建築設計(1984-1997/14yr)

建築・FM・UD

英UCL  
(1989-90)

郵便局 | 郵便貯金会館 文化施設 | 庁舎ビル | さいたま新都心 (BF都市) | 逓信病院

環境(1998-1999/2yr)

環境建築の枠組みづくり | エコ郵便局・オフィス計画

HB法  
改正委員

UD(2000-01/1.5yr)

郵便局UDの枠組みづくり(理念・手法・マニュアル)

戦略的FM(2001-04/3yr)

公社化のためのFM策定  
(戦略的FM、BSC)

国際会議  
TWN  
IPREC  
WPF

JFMA-UD  
研究部会  
UD@WP  
UD-review  
UD-GL  
CASUDA

JFMA

HFMA

WWP  
(IFMA)

UDC

建築学会  
ユビキタス委

北海道支社ネットワーク部

PM(2004-05/0.5yr)

東日本プロジェクトセンター

ショップPT

事業開発(2005-now)

経営企画部門(新規事業開発)

公社化

マネジメント

民営化